

山口 茜さん（バドミントン）

応援レポート

ダイハツ・ヨネックス ジャパンオープン2018

2018年9月11日（火）13日（木）14日（金）武蔵野の森 総合スポーツプラザ

トッププレーヤーのみが出場できる、世界有数の国際大会。
山口さんは追われる立場で優勝を目指す

ジャパンオープンの世界ランキング上位の選手しか出場できない国際大会。2018年4月には世界ランキング1

位にもなった山口さんも出場し優勝を狙うが、追われる立場にもなり勝ち抜いていくことはそう簡単ではない。

東京2020オリンピックバドミントン会場になる武蔵野の森総合スポーツプラザへ、応援に向かった。



11日の初戦はタイペイの選手。2-0のストレート勝ちとなった。「初戦にしては体も動いたし自分なりのプレーもできた。新しいこの会場は、

天井が高く好みです」と山口さん。

13日・2戦目の中国選手にも2-0で勝利。初盤に点差をつけられてしまったが、その



後意表を突くショットを繰り返し続けて強さを見せつけた。「集中力に欠けてつまらないミスがあったのが反省点」と試合を振り返っていた。

●バドミントンの基礎知識●

試合は3ゲームマッチで行われ、先に2ゲームを先取したほうが勝ち。ファーストゲーム（第1ゲーム）、セカンドゲーム（第2ゲーム）と進め、1対1になった場合は、ファイナルゲーム（第3ゲーム）が行われる。1ゲームは21点で、先に21点取ったほうが勝ち。ただし、20対20になった場合は、延長ゲームとなり、2点差がついた時点で終了。

準々決勝で粘るも敗退、ベスト8の結果に。 もっと強くなって次へと向かう！

14日の準々決勝は世界ラ 裏に打ち返すのだ。そして
ンキング5位のチェン・ユー ゲームカウント1-1に。
ファン選手(中国)。大会で優 ファイナルゲームの始め
勝を目指す山口さんにとってリードしていたのは山口さん
も強敵だ。

試合が始まり第1ゲームの にペースをつかまれ敗退と
中ばまでは競り合っていたがなってしまった。

徐々に押されてゲームを奪 「第1ゲームに自分のス
われてしまう。しかし、第2 ピードが遅くて主導権を握ら
ゲームは山口さんが粘り強されてしまった。その分体力も
を発揮。相手がここぞ、と 消耗した。第2ゲームはス
打ったショットを床にダイブし ピードを上げてラリー展開が
て拾ってみせ、逆に相手の できたけど、ファイナルゲー

ムでスピードを維持できな
かった」とのこと。

でも、「ホーム日本での大
会は応援が多くて、力になっ
た。海外だったら、今日の試
合も第2ゲームで(ダメだった)
...かもしれません」とも。

日本のファンの前で優勝で
きなかったのは相当悔しかっ
たはず。「次はさらに格上の
中国オープン。ここに集中し
ます」と、山口さんの瞳が燃
えていた。応援しています！



見えない速さでやってくるシャトルを、驚きの反射
神経でクリアする山口さんのプレーに会場は大
興奮。インタビューでは「何度も打ち付けていた
膝は大丈夫?』と聞かれて「すごく痛いです」と
真顔で答えていた。ここまで飛び込める女子選
手を他に見たことがない！

結果

Rank	Player	Score
17	Pornpawee CHOCHUWONG	21-19 17-21 21-11
18	Kirsty GILMOUR	21-18 21-7
19	Saena KAWAKAMI	21-11 21-23 21-11
20	Carolina MARIN [6]	21-7 21-12
21	Gregoria Mariska TUNJUNG	21-18 21-19
22	Evgeniya KOSETSKAYA	21-18 21-17
23	Minatsu MITANI	21-15 21-13
24	Ratchanok INTANON [4]	17-21 21-9 21-15
25	GOH Jin Wei	21-12 21-13
26	SUNG Ji Hyun	14-21 21-14 21-16
27	Mia BLICHFELDT	18-21 21-9 21-12
28	CHEN Yufei [5]	21-16 21-18
29	Michelle LI	21-13 15-21 21-15
30	CAI Yanyan	21-11 21-14
31	PAI Yu Po	21-18 21-19
32	Akane YAMAGUCHI [2]	21-18 21-12



2戦目の後、ちょうどお会いできた
山口さんにサインをいただきました！

